



令和2年11月25日

新型コロナウイルス研究・対策への スーパーコンピュータ「富岳（ふがく）」の計算資源活用について

本年4月より、令和3年度の共用開始を目指し、理化学研究所で整備を進めるスーパーコンピュータ「富岳」の計算資源の一部を新型コロナウイルス研究・対策のために前倒して活用しております。この度、新たに1課題を追加して実施することを決めましたのでお知らせします。（同時発表：理化学研究所・東京医科歯科大学）

○ 取組の概要

スーパーコンピュータ「富岳」については、製造担当企業である富士通株式会社から理化学研究所（計算科学研究センター（兵庫県神戸市））への搬入・設置作業が完了し、令和3年度の共用開始を目指してシステムの調整作業が進められています。

本年4月からは、新型コロナウイルスに対する研究・対策を推進すべく、「富岳」の計算資源の一部について、利用を前倒し、試行的に活用しています。この度、新たに利用申請のあった以下の1課題について、有識者からの意見等を踏まえ、「富岳」で追加実施することといたしました。

（追加課題）

- 新型コロナウイルス感染症重症化に関するヒト遺伝子解析

（課題代表者：東京医科歯科大学 宮野 悟）

※ 課題の詳細については、同日付の理化学研究所・東京医科歯科大学の発表資料をご覧ください。

（参考：現行課題）

- 新型コロナウイルス治療薬候補同定
- 新型コロナウイルス表面のタンパク質動的構造予測
- パンデミック現象及び対策のシミュレーション解析
- 新型コロナウイルス関連タンパク質に対するフラグメント分子軌道計算
- 室内環境におけるウイルス飛沫感染の予測とその対策

文部科学省では、これらの研究成果を関係省庁等にも速やかに提供し、より効果的な新型コロナウイルスへの対策の検討に貢献していきます。また、令和3年度の共用開始に向けて、「富岳」を国民共有の財産として誰もが活用しやすい環境を整え、国民生活に役立つ成果を創出してまいります。



スーパーコンピュータ「富岳」(※整備中 提供：理化学研究所)

<担当>

文部科学省 研究振興局 参事官(情報担当)付 計算科学技術推進室

参事官補佐 西川 尚斗(内線 4081)

企画推進係長 福野 達也(内線 4287)

電話：03-5253-4111(代表)

03-6734-4275(直通)

(「富岳」について)

国立研究開発法人 理化学研究所 神戸事業所 計算科学研究推進室

広報グループ 岡田 昭彦

電話：078-940-5625(直通) Mail:r-ccs-koho@ml.riken.jp